



くっちゃん型住宅

あなたの暮らしを支える住宅

「くっちゃん型住宅」の特徴

- ◆雪と共に暮らす住まい
 - ・落雪や堆雪スペースを確保した敷地の考え方
 - ・雪処理のしやすい建物の配置
 - ・車庫や物置が住宅と一体になった住宅
 - ・※雁木や風除室のついた雪処理に困らない住宅
 - ・灯油タンクなどの付属物は、雪に埋もれないようなつくり
 - ◆街並みに配慮した住まい
 - ・外観は自然になじむ色とし、木材などの自然素材を取り入れた温かみのある住宅
 - ◆羊蹄山やニセコの山々が眺められる住まい
 - ・リビングや寝室の窓から、羊蹄山やニセコの山々を眺められる住宅
 - ◆暖かでエコな住まい
 - ・建物全体があたたかくて部屋ごとに温度差が少ない住宅
 - ◆誰にも優しい住まい
 - ・高齢者、子ども、障がい者が、安心して生活しやすいバリアフリー住宅
 - ・手すりの設置や介護スペースの確保された住宅
- ※雁木とは？
雪や雨をよけるために、建物の軒から小型の屋根を出してつくり、下を通路とするものをいいます。

毎

日を過ごす場所である住宅は、暮らしの基盤とも言える場所です。住宅は、快適で心休まる場所であってほしいと、誰もが願っていることと思います。

倶知安町では、町で暮らす皆さまの暮らしを支えるための住宅として、「くっちゃん型住宅」を推奨しています。

今月の特集では、「くっちゃん型住宅」が持つ魅力についてお伝えします。

「くっちゃん型住宅」の魅力とは？

「雪の多い冬の時期に、とても便利な住宅」

「断熱気密性に優れたエコ住宅」

「くっちゃん型住宅」に住んでいる町民の声

「くっちゃん型住宅」について、実際に住んでいる方や、建設している業者に話を伺いました。

二つの視点から見えてくる「くっちゃん型住宅」の姿をお伝えします。

実際に住んでいる方へのインタビュー

「くっちゃん型住宅」にして

良かったことは？

- ・車庫がカーポートの設置が建設の条件で、私はカーポートを選びました。カーポートと雁木は家と一体化していて、悪天候の時、特に冬期間は管理がしやすく便利です。
- ・車庫と違い、カーポートには壁がないので、風が自然と抜けます。夏場は家族で焼肉などで楽しむことができます。
- ・自然素材を使っているので、風合いが良いと思います。



△カーポートによって、雪の心配が減ります。大雪の倶知安町には適した住宅と言えます。

「くっちゃん型住宅」に住んでいる町民の声

「くっちゃん型住宅」を建設している建設業者の声

「くっちゃん型住宅」への※補助制度をどう考えますか？

・「くっちゃん型住宅」の建築を、町内と町外の業者とで差をつけていることは良いことだと思います。町内業者の育成にもなるし、町の経済発展にもつながります。ぜひ今後も継続してほしいです。

※補助制度とは？

建築業者を選ぶ上で、町内業者を選んだ場合には150万円の補助が受けられます。町外業者の場合は50万円までしか受けられないため、町内業者の方が100万円多いということになります。

建設業者へのインタビュー

「くっちゃん型住宅」の制度が始まり、何か変化はありましたか？

- ・「くっちゃん型住宅」のことを知ったお客様から、問い合わせが増えています。
- ・補助制度もあることから、「くっちゃん型住宅」の建築を希望する方が増えてきています。
- ・自然素材の使い方や外観の見せ方に個性を取り入れやすいので、自社のカラーを出しやすくなりました。

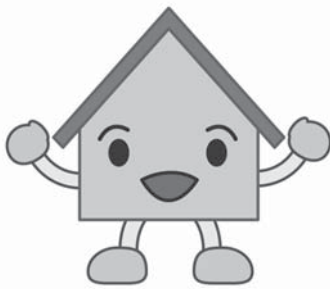


△建物の気密性を測る気密測定試験の様子です。くっちゃん型住宅では気密の基準値を設定しているのも特徴の一つです。

「くっちゃん型住宅」のメリットはなんですか？

- ・冬をより快適に過ごすため、断熱性能が高いつくりになっています。
- ・気密性も高いため、暖房エネルギーの節約につながり、エコな住宅と言えます。
- ・近隣との雪のトラブルを抑制するつくりになっています。
- ・道路に面する外壁には自然素材を使用することによって、建物としての景観にも優れています。
- ・ユニバーサルデザイン（バリアフリー）性が従来の住宅より向上しており、どなたでも過ごしやすい住宅になっています。

暖かく、雪にも強い住宅！
ユニバーサルデザインで
みんなに優しい住宅！



「くっちゃん型住宅」が生まれるまで

町では、平成6年より自然豊かな倶知安の風土に適した住宅づくりを推進するため、倶知安町HOPE計画を策定し、「倶知安型住宅」を提案するとともに、総合計画によるまちづくりと位置づけて推進してきました。

それから17年余り経ち、世の中の動きは地球環境意識の増加による循環型社会の形成、省エネルギー化、また、少子高齢化や住宅の長寿命化に対応すべく、※ユニバーサルデザインなど人々にやさしい住宅づくりへと変換しつつあります。

そこで、雪に強い住宅づくりとして高床における生活を提唱してきたHOPE計画を見直すこととなりました。HOPE計画では、厳しい積雪寒冷な地に誰もが永く安全で安心して快適に暮らしを営むことができる住まい、羊蹄山やニセコの山々の眺望を楽しむ住まいを目指してきました。その考えを継承しつつ、環境への負荷を低減する住まい、美しい街並みを創り、倶知安の魅力を高める住まいをつくることを目的に、平成25年度より新たな「くっちゃん型住宅」を進めています。

※ユニバーサルデザイン(UD)とは？

性別、年齢、障がい、能力の違いに関係なく、誰でも利用することができる設計(デザイン)のこと。高齢者や障がい者を対象にするバリアフリーと似ているが、UDは「できるだけ多くの人が利用可能であること」を目指しており、対象を限定していない点が異なります。

町内にある「くっちゃん型住宅」を見てみよう！



△雁木があることで、玄関前の雪に悩まされることが減ります。この住宅は外観に自然素材を特に多く用いており、体も心も安らげるつくりになっています。



△車庫を選択した住宅です。カーポートと違い周囲を完全に囲むことができるため、車を風雪から守ってくれます。



△外壁の自然素材に合わせた統一感のあるカーポートの仕上げや、室外器の雪囲いがポイントです。



△風除室にすることで雪の吹込みも防げます。

一口に「くっちゃん型住宅」と言っても、いろいろな形があります。住宅の建築を考えている方は、倶知安町の暮らしに適した「くっちゃん型住宅」を考えてみてはいかがでしょうか。

「くっちゃん型住宅」を建てるには…

「くっちゃん型住宅」の制度が始まり、2年が経過しようとしています。この間、「くっちゃん型住宅」を希望する人は増えてきています。

では、実際に「くっちゃん型住宅」を建てる際のポイントをご紹介いたします。

【補助金制度を上手に活用しよう！】

少子高齢化への対応や環境負荷の低減などの社会ニーズを踏まえた住宅の目標像を示すとともに、北海道の住宅が目指すべき性能や品質の基準となる「※北方型住宅基準」を定めています。

道内市町村では独自基準（くっちゃん型住宅など）を設定し、新築住宅の建設促進施策を進めています。北方型住宅基準にも該当した住宅を建てた場合、更に補助金が交付されます。

〈補助金額〉

○くっちゃん型住宅

町内業者施工……150万円

町外業者施工……50万円

○北方型住宅

町内・町外共……50万円

（※平成26年実績分）

※北方型住宅とは？

北海道の気候・風土に根差した、豊かな暮らしを実現するために、北海道庁が推奨する良質な住宅制度のことです。

【北方型住宅資格を持つ業者を選ぼう！】

「北方型住宅」は、どんな業者でも建築できるわけではありません。北方型住宅基準資格B1S（断熱施工技術者）の資格を持つ業者でなくてはなりません。この資

格は、住宅などの「断熱」「気密」「換気」「暖房」に関する専門知識や、正しい設計、精度の高い施工方法を指導できる技術者であることを示すものです。

B1S登録町内事業者

- ・あべ企画
 - ・宇田建設(株)
 - ・田中組
 - ・佐藤碎石工業(株)
 - ・横関建設工業(株)
 - ・エスワークス建築設計事務所
 - ・北の杜合同会社建築設計事務所
 - ・一宮建設(株)
 - ・(株)北沢建設
 - ・(株)羊蹄工業
 - ・瀬尾建設工業(株)
- ※倶知安町調べ（平成27年1月現在）

今後の住宅政策

「くっちゃん型住宅」を建てた人や建築業者の方から、「くっちゃん型住宅」について多くのご意見をいただいております。中でも、「車庫やカーポートの設置はコスト面から自由ではないのでは？」という趣旨の意見がありますが、倶知安町で家を建てる上で、雪への配慮は必須項目であるので、車庫やカーポートの設置は必須項目とし、建物の配置の工夫なども含めた、雪があっても住みやすい「くっちゃん型住宅」を今後も検討していきたいと考えています。また、新築住宅以外にも、既存住宅に対する施策など住宅政策全般について、平成27年度に見直し予定の住生活基本計画では、より具体的な対策を考えていきたいと思っています。

■「くっちゃん型住宅」に関するお問い合わせ先
町建設課住宅係 ☎56-8012